

ご存じ
ですか!?

売り手も買い手もスツキリ楽々!!

「デジタルインボイス」

PDFの請求書は「デジタルインボイス」ではありません!

デジタルインボイス?

うちの会社は、請求書をPDFにしてメールで送っているけど…?



それは、電子インボイスですね。

デジタルインボイス(Peppol^{ペポル})は、請求情報を、売り手側のシステムから買い手側のシステムに対し、人手を介することなく、直接データ連携し自動処理される仕組みのことです。

すべてデータでやりとりされるため、紙やPDFの請求書で必要だった様々な処理が不要となり、売り手と買い手双方の経理業務の自動化・効率化が期待されます。



紙のインボイス

電子インボイス

(PDFやExcelデータのメール送付)

デジタルインボイス

(Peppol)

売り手(発行)

請求書の
印刷や封入
が手間

郵送費も…



請求書が
データで
送れる

でも買い手
側は…



請求書が
データで
送れる

買い手と異なる
システムでもOK!

効率UP!



買い手(受領)

入力処理が大変

入力ミスも…



自動処理が
可能となり
手入力が不要!

売り手と異なる
システムでもOK!

効率UP!



デジタルインボイスで



売り手も買い手も
業務が効率化!

※この案内において「デジタルインボイス」として記載されている内容は、Peppolに対応したデジタルインボイスを前提としています。

既に導入済の企業もあります!

デジタルインボイス導入済事業者の活用事例により導入のメリット等をご確認いただけます。

デジタルインボイス活用事例はこちら ⇒

(デジタルインボイス推進協議会(EIPA)ホームページ) <https://www.eipa.jp/case>



国税庁

法人番号 7000012050002

令和8年2月

デジタルインボイス導入までの流れ

導入をご検討の際は以下のステップをご確認ください。



STEP 01

デジタルインボイスに対応した会計ソフト等の確認/導入

まずは、自社でご利用の会計ソフト等がデジタルインボイスに対応しているかご確認ください。対応していない場合は、対応したサービスを導入いただく必要があります。

デジタルインボイス対応済サービス

※デジタルインボイス対応済サービスについては、下部に記載のEIPAホームページにてご確認ください。

STEP 02

ペポル「Peppol ID」の取得

利用開始に当たっては、デジタル庁に認定を受けたPeppolサービスプロバイダから「Peppol ID」を取得する必要があります。取得方法は、ご利用のサービスによって異なりますが、導入しているデジタルインボイス対応済サービスを通じて取得することが一般的です。

Peppol ID

STEP 03

取引先のPeppol IDの収集・取引先への案内

デジタルインボイスを送信するためには、取引先のPeppol IDが必要となります。また、送付開始に当たっては、取引先への送付方法の変更の案内等を行った上で、開始するのが一般的です。デジタルインボイスでの請求書の受領を希望する場合は、請求元へ自社のPeppol IDを伝える必要があります。

取引先のPeppol IDの収集

取引先への開始案内

30社以上の会計ソフト等がデジタルインボイスに対応！

まずは、自社でご利用の会計ソフト等がデジタルインボイスに対応しているかご確認ください。

デジタルインボイス(Peppol)対応済サービスはこちら ⇒
(デジタルインボイス推進協議会(EIPA)ホームページ) <https://www.eipa.jp/service>



デジタルインボイスに対応した会計ソフト等の導入は、**デジタル化・AI導入補助金**の利用もご検討ください！

中小企業・小規模事業者がデジタル化に活用できる補助金です。



<https://it-shien.smri.go.jp/> ⇐ 「デジタル化・AI導入補助金(旧:IT導入補助金)」ホームページはこちら

国税庁は、事業者の皆様の業務のデジタル化促進に向けて取り組んでいます。

国税庁ホームページ「事業者のデジタル化促進」特設ページはこちら ⇒
<https://www.nta.go.jp/about/introduction/torikumi/jigyousyadx.htm>

